【表１】　「脳科学と教育」研究の俯瞰

教育における課題		「脳科学と教育」研究の目標	研　究　領　域
教育の役割	**①人格の形成** ②社会で生きていく力の涵養 ③効果的な学校教育の実施 ④生涯の様々な段階における能力の開発と自己実現の支援 ⑤障害のある人々の学習への対応	①個の理解 ②注意力、意欲、動機づけ、創造性の発達促進 ③脳科学の知見を生かした適切な教育課程の開発のための知識の集積 ④生涯学習の推進 ⑤脳機能障害の解明と脳機能に障害のある人々の社会参加を目指す教育・療育の推進	①注意力、意欲の増進や動機づけ、創造性の涵養に関する融合的研究 ②教育課程・教育方法などの開発のための知識の集積に関する融合的研究 ③生涯学習の推進と高齢期における脳機能の低下への対応に関する研究 ④脳機能障害の解明と脳機能に障害のある人々の社会参加を目指す教育・療育の推進に関する研究
教育への影響 ⇧			
教育を取り巻く環境の変化	**①情報化** **②効率化** **③個人化** **④少子化** **⑤競争社会の進展** ⑥ 高齢化 ⑦ 化学物質の影響	①環境要因が人の成長と学習活動に与える影響の解明 ②コミュニケーション能力の育成 ③学習障害、注意欠陥/多動性障害などへの対応 ④過剰なストレスから脳を守り、健全に発達させる方策	①環境要因が脳機能に与える影響と教育への応用に関する基盤的な研究 ②社会の情報化がもたらす脳機能への影響の解明と教育課題解決への応用 ③効率化がもたらす脳機能への影響の解明と教育課題解決への応用 ④個人化・少子化がもたらす脳機能への影響の解明と教育課題解決への応用 ⑤社会における過剰なストレスがもたらす脳機能への影響の解明と教育課題解決への応用 ⑥高齢化社会がもたらす脳機能への影響の解明と教育課題解決への応用 ⑦化学物質の脳機能への影響の解明と教育課題解決への応用 ⑧コミュニケーション能力の育成に関する研究 ⑨顕在化する学習障害などに対する対応方策の研究

課題の発生 ⇨

教育の場における課題
（一般的課題と障害のある人々への教育・療育にかかわる課題）

⇧

研究方法論

①胎児期の行動と脳の計測手法の開発
②乳幼児から高齢者までの脳の計測手法の開発・応用
③行動、認知、学習などの機能の行動学的・心理学的測定法の開発
④脳の発達と学習に関する理論的研究の推進
⑤脳関連遺伝子の解析とその発現に関する研究
⑥教育学・社会学・脳科学における統計手法の開発
⑦脳の発達に影響を及ぼす環境要因の分析
⑧ 脳科学と教育」研究に関連すると考えられる動物実験の推進